



平成30年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年1月12日

上場会社名 株式会社ほぼ日 上場取引所 東
 コード番号 3560 URL <https://www.hobonichi.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 糸井重里
 問合せ先責任者(役職名) 取締役CF0管理部長 (氏名) 篠田真貴子 (TEL) 03-5657-0033
 四半期報告書提出予定日 平成30年1月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年8月期第1四半期の業績(平成29年9月1日～平成29年11月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年8月期第1四半期	2,077	23.8	561	3.6	563	4.0	386	9.4
29年8月期第1四半期	1,678	—	541	—	541	—	353	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年8月期第1四半期	166.82	166.48
29年8月期第1四半期	176.59	—

- (注) 1 平成29年8月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式はありましたが、平成29年8月期第1四半期末時点において当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できませんので、記載していません。
- 2 当社は、平成28年12月22日付で普通株式1株を100株とする株式分割を行いました。なお、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しています。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年8月期第1四半期	4,435	3,310	74.6
29年8月期	4,228	2,991	70.8

(参考) 自己資本 30年8月期第1四半期 3,310百万円 29年8月期 2,991百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年8月期	—	0.00	—	45.00	45.00
30年8月期	—	—	—	—	—
30年8月期(予想)	—	0.00	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年8月期の業績予想(平成29年9月1日～平成30年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,213	18.4	727	1.1	727	1.9	489	5.7	211.20
通期	4,674	16.4	503	0.5	505	4.8	332	△2.4	143.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年8月期1Q	2,316,400株	29年8月期	2,316,000株
② 期末自己株式数	30年8月期1Q	一株	29年8月期	一株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年8月期1Q	2,316,333株	29年8月期1Q	2,000,000株

(注) 当社は、平成28年12月22日付で普通株式1株を100株とする株式分割を行いました。なお、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して株式数を算定しています。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて判断しており、多分に不確定要素を含んでいます。実際の業績は、業況の変化により予想数値と異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

平成30年1月18日(木)に機関投資家・アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。

なお、この説明会で配布する資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページ

<https://www.hobonichi.co.jp/> に掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における当社の経営成績は、次の表のとおりです。

	前第1四半期累計期間 (自平成28年9月1日 至平成28年11月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成29年9月1日 至平成29年11月30日)	対前年同期比 (増減額)	対前年同期比 (増減率)
売上高	1,678,110千円	2,077,774千円	399,664千円	23.8%
営業利益	541,449千円	561,162千円	19,713千円	3.6%
経常利益	541,428千円	563,021千円	21,593千円	4.0%
四半期純利益	353,184千円	386,407千円	33,223千円	9.4%

当社は、「夢に手足を。」つける会社であることを目指し、「やさしく、つよく、おもしろく。」を行動指針として、人びとに「いい時間」を味わってもらおうコンテンツを提供する事業を行っています。具体的には、ウェブサイト「ほぼ日刊イトイ新聞」、ギャラリーショップの「TOBICHI」、犬や猫と過ごす「いい時間」を軸にしたスマートフォン用写真SNSアプリ「ドコノコ」、「いい時間」を味わう商店街というコンセプトのイベント「生活のたのしみ展」といった、人びとがよろこんで集まる「場」を築き、こうした「場」で商品を直接個人に販売する事業を営んでいます。主力商品の『ほぼ日手帳』並びにその他一部の商品及び書籍は、卸販売も行っています。『ほぼ日手帳』は年間売上の約3分の2を占めます。

当第1四半期における当社をとりまく事業環境として、個人のインターネット利用及びEC(電子商取引)利用が発展したことがあげられます。総務省によりますと、平成28年末の我が国のインターネット人口普及率は83.5%となりました。また経済産業省の調査では、平成28年の日本国内のBtoC-EC市場規模は、15.1兆円(前年比9.9%増)まで拡大しました。当社の主力商品である手帳の市場規模は、民間の調査結果によりますと、平成29年度では359億円(前年比0.8%増)と底堅い動きになっていると見られています。

こうした環境のもと、主力商品の『ほぼ日手帳』は、例年通り9月1日より2018年版を当社ウェブ通販並びにロフト等の店頭で販売開始しました。10月に発売したTHE BEATLESとコラボレートしたカバーがヒット、11月には新判型『ほぼ日手帳weeks MEGA』も投入し、それぞれ売上に寄与しました。また、米国のAmazon.com及び中国のWeChat上にそれぞれオフィシャルショップを開設するなど、海外ユーザーの拡大に努めました。これらの結果、販売部数は伸長し、『ほぼ日手帳』全体の売上は前年同期に比べ増加しました。

また、第2回「生活のたのしみ展」を、11月15日～19日に六本木ヒルズアリーナで開催しました。これは、「生活のたのしみ」という切り口で、当社がスタイリスト、クリエイター、ブランドを様々にセレクトし、靴、アパレル、生活雑貨、食品といった多彩な商品をプロデュースして商店街のように実店舗展開した販売イベントです。平成29年3月開催の第1回と比較して店舗数を倍増させ、会期を3日から5日に伸ばしました。12月発売の新商品『ほぼ日のアースボール』『ほぼ日5年手帳』の先行販売も行いました。5日間トータルで取引件数は約31,600件となり、売上に貢献しました。これらの結果、売上は2,077,774千円(前年同期比23.8%増)となりました。

販売費及び一般管理費においては、売上増に伴い、発送費が前年同期に比べ増加しました。さらに、中長期の成長に向けて人材採用及び外部人材への業務委託を積極化したこと、「生活のたのしみ展」の開催費用の発生、新規株式上場に伴い、資本金が増加し外形標準課税対象となったことで租税公課が前年同期比で増加したこと等により販売費及び一般管理費がかさみ、営業利益は561,162千円(前年同期比3.6%増)、経常利益は563,021千円(前年同期比4.0%増)、四半期純利益は386,407千円(前年同期比9.4%増)となりました。

上記の業績は、当社の運営する「場」が活発にコンテンツを発信し、人びとがよろこんで集まったことによりもたらされたと考えています。当第1四半期における「ほぼ日刊イトイ新聞」では、美術家の横尾忠則さんと糸井重里の対談や、「生活のたのしみ展」のテキスト中継などが、多くのユーザーを集めました。ギャラリーショップ「TOBICHI」では、画家の笹尾光彦さんの原画展(Bunkamuraギャラリーと同時開催)、ぬいぐるみ作家の今井昌代さんの作品展などを開催しました。犬や猫の写真SNSアプリ「ドコノコ」は平成29年11月までに約17万ダウンロードを達成しました。

このように、当社は運営する「場」において、さまざまなコンテンツを提供しています。コンテンツとはクリエイ

イティブの集積であり、読み物、キャラクター、画像、イベント、モノのかたちの商品、すべてがコンテンツであるととらえています。当社は、生活のたのしみとなるような「いい時間」を味わってもらう、そのためのコンテンツをつくったり、仕入れたり、育てたり、編集したりして、お届けしています。業績は、こうした活動の結果と考えています。

なお、当社は単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しています。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

	前事業年度 (平成29年8月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年11月30日)	前事業年度末比増減
資産合計	4,228,428千円	4,435,245千円	206,816千円
負債合計	1,236,484千円	1,124,457千円	△112,026千円
純資産合計	2,991,944千円	3,310,788千円	318,843千円

(資産の部)

流動資産は、3,668,931千円と前事業年度末に比べて145,596千円の増加となりました。これは主に現金及び預金の増加70,191千円と、売掛金の増加304,779千円、商品の減少182,679千円によるものです。

有形固定資産は、163,558千円と前事業年度末に比べて6,833千円の減少となりました。これは主に減価償却によるものです。

無形固定資産は、40,450千円と前事業年度末に比べて19,762千円の増加となりました。これは主にソフトウェアの取得によるものです。

投資その他の資産は、562,304千円と前事業年度末に比べて48,290千円の増加となりました。これは主に投資有価証券の評価額の増加52,100千円によるものです。

(負債の部)

流動負債は、954,203千円と前事業年度末に比べて125,500千円の減少となりました。これは主に買掛金が306,195千円減少したことによるものです。

固定負債は、170,253千円と前事業年度末に比べて13,473千円の増加となりました。これは主に退職給付引当金が4,719千円増加したことによるものです。

(純資産の部)

純資産の部は、3,310,788千円と前事業年度末に比べて318,843千円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加282,187千円によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

	平成30年8月期 予想	平成29年8月期 実績	対前期増減率
売上高	4,674百万円	4,016百万円	16.4%
営業利益	503百万円	500百万円	0.5%
経常利益	505百万円	482百万円	4.8%
当期純利益	332百万円	340百万円	△2.4%

平成30年8月期の業績予想につきましては、概ね計画通りに推移しており、平成29年10月12日に発表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想数値に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年8月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,910,495	1,980,687
売掛金	653,669	958,448
商品	808,902	626,223
仕掛品	31,537	2,349
貯蔵品	2,341	2,341
その他	119,737	111,641
貸倒引当金	△3,350	△12,760
流動資産合計	3,523,334	3,668,931
固定資産		
有形固定資産		
建物	162,777	162,887
工具、器具及び備品	105,573	105,685
その他	3,060	3,060
減価償却累計額	△101,019	△108,076
有形固定資産合計	170,392	163,558
無形固定資産		
投資その他の資産	20,688	40,450
投資有価証券	410,306	462,407
その他	103,707	99,897
投資その他の資産合計	514,014	562,304
固定資産合計	705,094	766,314
資産合計	4,228,428	4,435,245
負債の部		
流動負債		
買掛金	753,637	447,441
賞与引当金	63,497	17,649
未払法人税等	128,493	195,093
その他	134,076	294,018
流動負債合計	1,079,704	954,203
固定負債		
退職給付引当金	92,856	97,575
資産除去債務	42,925	42,981
その他	20,998	29,696
固定負債合計	156,779	170,253
負債合計	1,236,484	1,124,457
純資産の部		
株主資本		
資本金	347,839	348,096
資本剰余金	337,839	338,096
利益剰余金	2,231,848	2,514,035
株主資本合計	2,917,526	3,200,228
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	74,418	110,560
評価・換算差額等合計	74,418	110,560
純資産合計	2,991,944	3,310,788
負債純資産合計	4,228,428	4,435,245

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成28年9月1日 至平成28年11月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成29年9月1日 至平成29年11月30日)
売上高	1,678,110	2,077,774
売上原価	632,144	865,894
売上総利益	1,045,965	1,211,880
販売費及び一般管理費	504,516	650,717
営業利益	541,449	561,162
営業外収益		
受取利息	6	0
業務受託料	497	635
その他	256	2,280
営業外収益合計	759	2,915
営業外費用		
その他	780	1,056
営業外費用合計	780	1,056
経常利益	541,428	563,021
税引前四半期純利益	541,428	563,021
法人税、住民税及び事業税	185,682	184,414
法人税等調整額	2,561	△7,799
法人税等合計	188,244	176,614
四半期純利益	353,184	386,407

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期累計期間(自平成28年9月1日至平成28年11月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成28年11月29日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	90,000	4,500	平成28年8月31日	平成28年11月30日

2. 基準日が前第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が前第1四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期累計期間(自平成29年9月1日至平成29年11月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成29年11月26日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	104,220	45	平成29年8月31日	平成29年11月27日

2. 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。